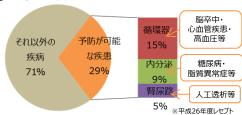
データヘルス計画

福岡市国民健康保険医療費適正化計画

医 療

1 全体医療費



予防可能な疾病が医療費全体の3割を占めている。

入院・外来のレセプト件数・医療費

0	% 1	0% 20)% 30		10% ■入院	50%	60	% 7	0% 8	0% 9	0% 1	100%
	的8万4	千件										
件数 3	.1%				1	96.9%	Ś	約26	4万6千	件		
費用額	¥	9429億	円 44.9%	6				5	5.1%	約527	7億円	
					×κD	B帳票N	No.	1「地域	全体像	の把握Ⅰ	平成2	5年度

③ 年間200万円以上の高額医療者の状況

※脳血管疾患・虚血性心疾患の年間医療費200万円以上のケース を、手術・入院等が必要な重症化した状態とみなす。

3%の入院レセプトが医療費の45%を占めている。

う間が、人間はある。文は生産化でんが心についるう。							
	高額医療費 全体	脳血管 疾患	虚血性 心疾患	人工透析			
人数	9,163人	476人	203人	609人			
	9,103人	5.2%	2.2%	6.6%			
費用	385億円	26億円	9億円	32億円			
	ンのが記口	6.8%	2.4%	8.4%			

※平成26年度レセプト

高額医療者の脳血管疾患・虚血性心疾患・人工透析の医療費 は年間67億円で、高額医療者の18%を占める。

4) 高額医療者の重症化した疾患と基礎疾患の重なり

14714.e-c da	重症化した疾患					
基礎疾患の重なり	脳血管疾患	虚血性 心疾患	人工透析			
高血圧	74.4%	94.0%	90.5%			
糖尿病	42.6%	81.0%	51.0%			
脂質異常症	46.7%	39.5%	36.9%			

糖尿病・高血圧・脂質異常症等の基礎疾患の重症化による 疾患が高額医療の要因となっており、その多くが基礎疾患 を複数有している。基礎疾患の重症化予防により、高額医 療費の抑制につながる。

(5) 介護保险認定者の友性は2

「護休陝認正石の月衲状况								
		レセプト 件数	脳卒中	高血圧				
40	垣岡市	779	469	517				
	TEH IEIJ 1 13	//6	60.3%	66.5%				
64歳	福岡県	_	59.8%	69.7%				
65	垣岡市	3 008	1,202	2,057				
~	TEH IEIJ 1 13	3,008	40.0%	68.4%	:			
74歳	福岡県	_	40.8%	69.3%	7			
	40 ~ 64歳 65 ~	40 ~ 64歳 福岡県 65 ~	40 ~ 福岡市 778 64歳 福岡県 - 65 ~ 福岡市 3,008	40 ~ 64歳 福岡市 福岡申 ~ 633% 778 60.3% 65 ~ 8 福岡申 3,008 1,202 40.0%	40 ~ 64歳 はのは、 福岡市 では、 福岡県 では、 高田市 では、 福岡市 では、 高田市 では、 3,008 地域中では、 66.3% 高血圧 では、 66.5% 469 517 60.3% 66.5% 69.7% 40 60.3% 4.202 2,057 40 40.0% 68.4%			

※KDB帳票No.47 「要介護(支援)者認 定状況 | 平成25年度

要介護認定者は、介護認定なし者に比べて医療費が高い。 第2号介護認定者は脳卒中有病割合が6割を占める。

健 診

医療機関での受療が必要な人の健診後の受療状況

	該当者	健診前未治療 健診後未治療				
糖尿病 (HbA1c6.5以上)	3,642人	848人	538人	63.4%		
高血圧 (血圧II度以上)	2,143人	1,182人	812人	68.7%		
脂質異常症 (LDL-C180以上)	2,835人	1,822人	1,364人	74.9%		

※平成26年度レセプト, 平成26年度特定健診(実数) 健診受診率は依然低いが増加しており、特定保健指導実施率は高い。

健診結果で医療機関での受療が必要な値の人のうち、6~7割の人が未治療のままと なっている。

課題のまとめ

- ●未受診者は基礎疾患に気付かず重症化しやすい傾向にあり、重症化リスクが潜在している可能性が高いが、特定健診の受診率が低 く、保健指導対象者を十分に把握することができていない。
- ⇒特定健診受診率の向上が課題

6 健診受診率

政令市順位

福岡市

政令市順位

政令市平均

H22

18.8%

16位

政令市平均 24.7% 28.0%

H22

37.2%

2位

⑦ 特定保健指導実施率

H26

23.1%

16位

※法定報告デー

H26

35.1%

1位

※法定報告データ

16.4% 15.1%

短期

首

中長期目標

- ●高額な医療費・介護費が必要となる脳血管疾患・虚血性心疾患・人工透析は、糖尿病・高血圧・脂質異常症の重症化により発生 する割合が多いが、受療勧奨値以上であるにもかかわらず未治療の割合が多い。
- ⇒糖尿病・高血圧・脂質異常症を早期発見し、早期改善・治療につなげる重症化予防対策が課題

取り組みの全体像

Plan データ分析に基づく事業の立案

- ●健康課題,事業目的の明確化
- ●目標設定
- ●費用対効果を考慮した事業選択

Act

次サイクルに

向けて

修正

な

取

保健指導対象者の把握 効果的な保健指導の実施

受診率向上

高血圧・糖尿病・脂質異常の改善

脳血管疾患・虚血性心疾患・新規透析患者の減少

医療費の伸びの抑制

heck データ分析に基づく効果測定・評価

健診受診者

健診未受診者

生活習慣病 生活習慣病 生活習慣病 生活習慣病 治療あり 治療なし 治療あり 治療なし 7.4% 12.8% 38.6% 41.2%

- 特定保健指導
- ●重症化予防対策
- ·特定保健指導未利用者対策(新規)
- ・受療勧奨値以上の未治療者へ の保健指導の拡充 (新規)
- かかりつけ医 を通じた 健診受診勧奨
- 健診受診勧奨
- ·40·50歳無料化 (新規)

Do

事業

の実施

●受診率向上

対策

●重症化予防 事業

●ポピュレーションアプローチの強化

2016.1.22

給付適正化計画

ジェネリック医薬品の普及促進

普及率(調	剤レセプト)	福岡市	福岡県	全国
数量ベース	H25年度	50.5%	53.0%	51.2%
(新指標)	H26年度	55.6%	59.0%	58.4%

●課題

ジェネリック医薬品 の普及率が全国 平均、県平均より 低い。

●取り組み

差額通知の送付、切替希望シール の全世帯配付の継続実施と併せて, 被保険者や医療機関への普及啓発 を強化。

頻回重複受診対策

●課題

頻回受診(月に15日以 上)が年間3ヶ月以上あ る人が約2000人存在し, 約13億円の医療費を要し ている。

●取り組み

保健師等の訪問健康相 談により, 生活指導や助 言を行い受療の適正化を 図る。

〇内容点検効果率

レセプト点検



●課題

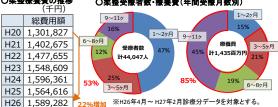
レセプトの内容点 検効果率が県平 均より低い。

取り組み

高額レセプトの重点点検、レセプト 点検システムの活用により、効果 率の向上を図る。

療養費の適正化

〇季整療養費の推移 〇柔整受療者数・療養費(年間受療月数別)



●課題

柔道整復療養費の増加 率が高く、 受療した月が 年間3ヶ月以上ある人は 受療者の53%で、柔道 整復療養費の85%, 12 億円を占める。

取り組み

柔道整復療養費の内容 点検,保険適用基準の 広報・啓発により適正化 を図る。